

臨床検査医学

【Laboratory Medicine】

担当責任者 教授（第1内科学） 田中 良哉

ねらい

1. 医師と検査と患者の一連の関係において、検査に対する医師としての基本的理念を理解する。
2. 臨床検査は問診、診察とともに臨床の場において必須の要件であり、診断体系における臨床検査医学の位置づけ及び各種臨床検査の意義を学ぶ。
3. 産業医学や労働衛生における臨床検査の利用を学ぶ。

学修目標

1. 臨床検査における基準値、病態判断値の概念、検査成績に及ぼす諸因子、検体採取法や精度管理について説明できる。(II-6)
2. 検査の特性(感度、特異度、偽陽性、偽陰性、検査前確率、検査後確率、オッズ比、尤度比)を説明できる。(II-11)
3. 各検査項目毎にその検査の目的、原理、およびデータの意味を説明できる。(II-6)
4. 臨床検査により、疾病の診断、病態や重症度の把握、治療方針の決定や予後の推定などを評価できる。(II-6)
5. 医療経済を取り巻く環境が年々厳しくなる現状を把握し無駄な検査をしない適応力を習得する。(II-13)
6. 健康診断における臨床検査項目の選択や解釈ができる。また個人データの経時的集積により、潜在的疾患の早期発見や予防に関する評価ができる。(II-11)

事前事後学習の方法

1. シラバスに記載されている授業項目について、参考書などで事前に予習しておくこと。
2. 配布された講義テキストを熟読して講義内容の復習をすること。

成績評価方法・基準

1. 本試験を成績評価とし、60点以上を合格とする。

○教科書

高木 康、山田俊幸 編「標準臨床検査医学」第4版 2013年(医学書院)

○参考書

1. 金井正光編「臨床検査法提要」改定第34版 2015年（金原出版）
2. McPherson RA, Pincus MR "Henry's Clinical Diagnosis and Management by Laboratory Methods" 22nd edition, 2011, Saunders
3. Medical Practice編集委員会編「臨床検査ガイド」2015(文光堂)
4. 熊坂一成、櫻林郁之介編「臨床検査項目辞典」2008年(医歯薬出版)

講義:2201講義室

年月日	曜日	時限	授業項目(内容)	コアカリ項目			担当者
				大項目	中項目	小項目	
R3.4.2	金	III	臨床検査医学総論、検査の特性、基準値・カットオフ値	F	2	(2)	島尻 正平
4.6	火	V	腹部超音波検査	"	"	(7)	柴田 道彦
4.9	金	III	尿・糞便検査	"	"	(3)	原田 みりい
4.13	火	V	内視鏡を用いる検査	"	"	(6)	芳川 一郎
4.16	金	III	生理機能検査(心電図、心エコーなど)	"	"	(7)	竹内 正明
4.20	火	V	脳脊髄液検査、脳波および大脳誘発電位	"	"	(3)	大成 圭子
4.23	金	III	呼吸機能検査・動脈血ガス分析など 新型コロナウイルス感染症対応 (※)	"	"	(3)	山崎 啓
4.30	"	"	血液学的検査	"	"	(3)	山口 絢子
5.19	水	II	生化学的検査	"	"	(3)	"
5.26	"	"	免疫学的検査	"	"	(3)	"
6.16	"	"	輸血と移植	"	"	(13)	"